

平成 12 年度企画展

その日にー5 年後、77 年後 震災・記憶・芸術

会 期	2000 年 9 月 1 日～2000 年 10 月 15 日
開催日数	39 日
主 催	岡本太郎美術館
協 力	武蔵野美術大学芸術文化学科
観 覧 料	一般 700 円、小・中・高・大学生 300 円
入場者数	8,887 人
1 日平均	228 人
図 録	A5、103 p、1,260 円（税込）
ポスター	B2
チ ラ シ	A4
出品点数	27 点
担 当 者	片岡香、大杉浩司



展覧会カタログ



[開催趣旨]

阪神淡路大震災から 5 年、関東大震災から 77 年目を迎える今日、「震災」を事件そのものとしてよりはむしろ、ある一つのきっかけとして捉えた展覧会を開催するもの。震災という現実が、直接・間接に、私たちの存在や芸術のあり方に関与しているかを考えるための「対話的な」試み。出品作家は、石内都・北山善夫・多和圭三・藤本由紀夫・坂茂の 5 名。

[主要関連記事]

- ・ 「震災を乗り越えてゆく表現」 山盛英司 『朝日新聞』 2000 年 10 月 7 日
- ・ 「『震災 記憶 芸術』展 岡本太郎美術館で開催中」 『毎日新聞』 2000 年 9 月 8 日

備考：ゲストキュレーター：新見隆（武蔵野美術大学芸術文化学科教授）

ワークショップ企画協力：杉浦幸子

阪神淡路大震災に見舞われた作家を対象にアンケートを実施し、展示パネルとカタログ内に掲載。

作家アンケート編集協力：大野裕子、アンケート協力作家：43 名（カタログに記載）。

【関連事業】

紙のログハウスをつくる(ワークショップ)

会 期 2000年8月1日～8月12日

参加数 225名

内 容 建築家の坂茂が阪神淡路大震災で建てた紙のログハウスを共同作業でつくる。

場 所 企画展示室

協 力 杉浦幸子、武蔵野美術大学芸術文化学科を中心とする学生スタッフ

料 金 無料(入館料のみ)

備 考 展覧会会期前に行う。来館者(子どもから大人まで)が当日自由に参加。武蔵野美術大学の学生を中心とした学生スタッフが主体となり、来館者への呼びかけから制作補助まで行う。企画展示室内で全ての制作過程を行い、展覧会会期中にそのまま展示する。



日常の死について?(ワークショップ)

会 期 2000年8月19日

参加数 19名(50名程度募集)

内 容 出品作家の北山善夫が作品の創作背景について語った後、参加者が氏と共に死亡記事をもとにドローイングする。展覧会会期中作品の一部として展示。

場 所 企画展示室

講 師 北山善夫

協 力 杉浦幸子、武蔵野美術大学を中心とする学生スタッフ

料 金 無料(入館料のみ)



皮膚の記憶をたどる(ワークショップ)

会 期 2000年9月9日

参加数 20名(20名募集)

内 容 出品作家の石内都によるギャラリートークの後、参加者がペアを組みポラロイドカメラを使って、それぞれの皮膚や身体の写真を撮る。

場 所 企画展示室、創作アトリエ

講 師 石内都

料 金 無料(入館料のみ)

協 賛 日本ポラロイド株式会社

備 考 参加資格中学生以上



[出展作品リスト]

No.	作家/作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	所蔵先(作家蔵の場合は省略)
－石内都－					
1	25 MAR 1916 , #1	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	27.3×38.5	
2	25 MAR 1916 , #2	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	38.5×27.3	
3	25 MAR 1916 , #3	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	27.3×38.5	
4	25 MAR 1916 , #4	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	27.3×38.5	
5	25 MAR 1916 , #5	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	38.5×27.3	
6	25 MAR 1916 , #6	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	108×74.0	
7	25 MAR 1916 , #7	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	108×74.0	
8	25 MAR 1916 , #8	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	108×74.0	
9	25 MAR 1916 , #9	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	108×74.0	
10	25 MAR 1916 , #10	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	108×74.0	
11	25 MAR 1916 , #11	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	108×74.0	
12	25 MAR 1916 , #12	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	108×74.0	
13	25 MAR 1916 , #13	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	108×74.0	
－北山善夫－					
14	「事件」－もの語られることとして－	2000	ミクスト・メディア		
15	毎日毎日を記した	1986	鳥の子紙にインク、色鉛筆	213.5×153	
16	小さいと言い換えてもよいのではないか	1990	鳥の子紙にインク、墨汁、 アクリル絵具、美濃和紙、火、熱	212×442	
17	時間はあの様に使いたい。	2000	鳥の子紙にインク、色鉛筆	213.5×153	
18	何度も何度も、ああ気持ちいいなと・・・	2000	鳥の子紙にインク、色鉛筆	213.5×153	
19	お体に気をつけて下さい。	2000	鳥の子紙にインク、色鉛筆	213.5×153	
－多和圭三－					
20	無題	1991	鉄	120×95×35	
21	無題	1991	鉄	10×10×43	個人蔵
22	無題	1987	鉄	500×20×50	
23	無題	1984	鉄	100×30×60	
－藤本由紀夫－					
24	SUGAR I	1995	ミクスト・メディア	30×30×20	
25	ON THE EARTH	2000	ミクスト・メディア	5.5×5.5	
26	UNIVERSE	1999	ミクスト・メディア	20×20×10	個人蔵

—坂茂—

27 紙のログハウス